

大林学区地域運営委員会

基本情報

活動拠点 大林愛林会(安佐北区大林一丁目4-5)
開設日 平日(土日祝除く。)
開設時間 9時~17時

構成・連携団体

<構成団体>

大林地区社会福祉協議会、大林地区連合自治会、大林学区悦寿会、大林学区自主防災会連合会、大林地区公衆衛生推進協議会、一般財団法人大林愛林会、大林学区防犯組合連合会、大林地区青少年健全育成連絡協議会、三入地区民生委員・児童委員協議会大林地区代表、大林学区体育協会、安佐北交通安全協会大林支部、広島市立大林小学校、広島市立大林小学校PTA、大林学区子ども会育成協議会、下本郷自治会、上本郷自治会、下洞庭自治会、上洞庭自治会、下大杉自治会、上大杉自治会、浜ヶ谷自治会、上大林自治会、川東自治会、長迫自治会、登尾自治会、代田自治会、高谷自治会、草田自治会、野平谷自治会、石林自治会、大林地区文化事業実行委員会、一般社団法人ふるさと楽舎、大林間伐材再生研究会、トーホー株式会社、株式会社タマダ、東洋電装株式会社、株式会社金本商会、山崎製パン株式会社、公益財団法人広島市文化財団 三入公民館、大林集会所運営委員会

活動内容・PRポイント

○ 活動内容

「住んで良かった、住み良いまち、笑顔の絶えないまち、そして「結」のあるまち」を目指して、次の事業に取り組んでいます。

<令和6年度の事業>

区分	内容・目的	実施時期
大林夏祭りのタバ	伝統文化を活かしたまちづくりを推進し、郷土愛の醸成を図る。	令和6年8月11日
大林木と食の里祭り	地元企業等と連携し、里山の恵みをたくさんの方にと共有・体感し、その魅力を守り続ける施策の一環とするとともに、地域の野菜等食の提供を図り地域の特徴を発信する。	令和6年11月23日
森林資源を活かした里山整備	里山再生及び市民の憩いの森の実現に向けた取組みの一環として、広葉樹を中心に植栽し、有害獣対策として防護ネットを設置し、生育状況を調査していく。	令和6年4月～ 令和7年1月
自主防災マップ作製・避難訓練	気象予報士・防災士の「勝丸恭子」さんの講演会を開催し、防災意識の向上を図る。	令和6年7月14日
コミュニケーションスペースの設置	令和5年度にLMO事業として実施した全世帯アンケートの結果を踏まえ、LMO大林の構成団体であるトーホー株の敷地内施設を活用したコミュニケーションスペースを設置した。	令和6年10月8日
大林小学校鮎放流	小学生に鮎の生態を学んでもらうこと、放流を通じて子供たちに川の環境、放流の大切さを知ってもらい、川に親しむ気持ちを養う。	令和6年5月22日

○ PRポイント

地元企業及び大学等と連携した地域活動

【地域の課題】

- ・ 地域内で孤立しがちな子育て世代等が交流できる居場所を作りたい。
- ・ 地域活動に参加する人が減っており、次世代の担い手が見つからない。

【取組内容】

- ・ 大林学区地域運営委員会の構成団体である地元企業が、イベント会場や地域交流活動の場として敷地や施設を無償で開放してくれています。
- ・ 子ども会や子育て支援団体、大学など地域内外の団体と協力し、子育て世代のコミュニティスペースとして活用を目指しています。
- ・ 保健師相談会やイベントの開催、利用者が思い思いに過ごす場の提供などを通じて、居場所をつくります。
- ・ 若い世代の孤立を防ぐとともに、地域活動への参画やこの地域に住んで良かったと思える関係づくり、結の精神と郷土愛の醸成につながることを期待しています。



<大林 木と食の里まつり>

広島市LMOづくりサポート事業の対応者等について

○ 派遣型(対応可)



会長 坊 聰彦

一言コメント:若い方がここに住みたい、住んで良かったという町を目指しています。

○ ツアー型(対応可)

ツアーでの受入可能人数 10人程度

オプションで対応可能な事業については、別途相談に乗らせていただきます。